



※「ガッチャンコ」とは…

「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたいという願いがこめられています。

Press Release

HBC 北海道放送株式会社

2018年06月15日

ゴジラファン必聴！ HBCファン垂涎！

クラシックCD

**「伊福部昭 トリビュート 春の音楽祭 イン キタラ」
8月発売！**

HBC北海道放送は、クラシックCD「伊福部昭トリビュート 春の音楽祭 イン キタラ」を8月17日に発売します。このCDは北海道命名150年を記念し、今年3月20日に札幌コンサートホール Kitara で開催された同名の演奏会をライブ録音したものです。伊福部昭氏(1914-2006年)は釧路市出身で戦後のクラシック界を代表する作曲家の一人です。ラジオやテレビの創成期の音楽づくりにも深く関わり、最近ではゴジラのテーマの作曲者としても知られています。1952年にHBCが北海道初の民間放送として誕生した際のラジオのテーマ曲「ウポポ」や「HBC テレビジョン・テーマ曲」などの作曲も手がけました。3月の演奏会では上記曲が60年余りの時を経て楽譜復元および演奏されたほか、「ゴジラ vs モスラ」を編曲した交響詩「聖なる泉」など伊福部氏へのオマージュ曲も演奏されました。指揮・音楽監督は伊福部昭氏「最後の弟子」として直接、伊福部昭氏から薫陶を受けた帯広市出身の藤田崇文氏。演奏は札幌交響楽団。アンコール曲にはゴジラとソーラン節を融合させた作品「北の舞／もしもゴジラが北海道に上陸したら」という設定の楽曲も披露され、本CDに収録しました。

【演奏】 指揮：藤田崇文／札幌交響楽団

【収録楽曲】

1. 伊福部昭(藤田崇文編纂)：HBC コールサイン～HBC ラジオ・テーマ曲「ウポポ」
2. ショスタコーヴィチ：祝典序曲
3. ハチャトゥリアン：バレエ組曲「ガイーヌ」より レスギンカ
4. ハチャトゥリアン：バレエ組曲「ガイーヌ」より 剣の舞
5. 藤田崇文：交響詩「奇跡の一本松」
6. 芥川也寸志：交響管弦楽のための音楽<第2楽章>
7. 真島俊夫(藤田崇文編曲)：「波の見える風景」
8. 伊福部昭(藤田崇文編曲)：交響詩「聖なる泉」<ゴジラvsモスラより>
9. 伊福部昭SF交響ファンタジー第1番 <ゴジラ～宇宙大戦争>
10. 伊福部昭：シンフォニア・タプカーラ <第3楽章>
11. 伊福部昭：北海道賛歌 [アンコール]
12. 藤田崇文：「北の舞」…もしもゴジラが北海道に上陸したら…伊福部昭に捧げる [アンコール]
13. 伊福部昭：HBCテレビジョン・テーマ曲～HBCコールサイン

<販売価格> ¥2,778(本体)+消費税

<発売日> 2018年8月17日(金)

<発売元> 北海道放送株式会社/株式会社スリーシェルズ/
TBSヴィンテージクラシックス

<販売元> 株式会社ポニーキャニオン

<品番> PCCR.90079

<POSコード> 4988013195110

<お問い合わせ> 北海道放送株式会社 ライツ・コンテンツ部
(TEL:011-232-5858)

